

「さわやか西中 誰からも愛され、応援される生徒を目指して」

平成27年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成28年1月22日(金)発行 第 38 号

S Bタイム実施中

前号でもお知らせしましたが、現在「SBタイム」を全校あげて実施しています。「SBタイム」とは、スーパーブラッシュアップタイムの頭文字をとったもので、カウントとして7校時目の授業にあたります。

今週SBタイムで実施したのは、本日実施した英語検定に向けての特別授業です。受検級ごとに分かれ、全職員がそれぞれの級を担当して指導を実施します。次週以降は、1学期からの総復習を実施する予定です。

新聞等で報じられていたように、先日福島県学力調査の結果が公表されました。受検対象は小5、中2の、新年度から最高学年になる学年での実施でしたが、会津地方の学力が伸び悩んでいます。本校の生徒の状況も芳しくありません。

今後実施するSBタイムは、こうした状況に対処するもので、本校の学習の雰囲気を一気に高めると共に、生徒の学力の底上げを図りたいと思います。



生徒一人に1人ずつの教師…。塾も顔負けの環境？

今年もやります！クロカンスキー

ようやく雪が降りました。大雪を予想していましたが、22日現在30cmに満たない状況です。そんな中、今年もクロカンによる体力作りが始まりました。大雪だった昨年とは異なり、今シーズンは真冬でも太陽がのぞくことがあります。生徒も気持ちよさそうにクロカンを楽しんでいます。



授業規律を見直そう！

昨年の6月12日、京都から先生をお呼びしてモデル授業をしていただきました。全国を飛び回って、小学校から大学まで、あらゆる校種、あらゆる教科で授業を公開している先生です。

国語、社会、数学の3教科の授業をしていただきましたが、国語、社会の授業は、授業というより、授業の前段階の授業規律に重きを置いた授業をされていました。

「あいさつは姿勢を正して」「手はズボンの縫い目にあわせてまっすぐ伸ばす…」、

「話を聞くときにははっきり目を向ける。」など、大変細かい指導がなされていました。それだけ先生は「授業は教師と生徒の真剣勝負！」ということを意識されていたのではないかと思います。

西山中学校は少人数ということもあって、教師と生徒の距離が近く、和気あいあいと授業が進められています。このことは時にメリットとはなっても、徐々にけじめのない授業態度に発展してしまう危険性をはらんでします。そこで、3学期のはじめ、そして平成27年度の締めくくりを充実させる目的で、もう一度授業規律を見直すこととしました。

休み時間と授業のけじめをしっかり持って授業に臨むよう生徒には指導いたしますので、ご家庭でも折に触れご指導おねがいたします。



福島民友全県版に載りました！

1月21日付け福島民友より

裸まいり 初参加で登り切る

復興 あしたへ



「裸まいりで綱を登り切った運を使って今年1年も頑張りたい」と話す金子君

柳津・西山中一年 金子 天斗君

柳津町の山間部にある西山地区の小さな中学校に通う。全校生徒は16人と少ないが、「中学校に入学して何でも積極的に参加するようになった」と話し、学校行事を通じて多くのことを学んでいる。正月7日に行われた町を代表する伝統行事「七日堂裸まいり」に今年初めて参加した。年上の参加者に負けじと大鯨口の打ち綱をつかみ、見事に

(坂本龍之)



綱を登り切った。「応援の音が聞こえて頑張れた」と達成感を口にした。小学5年生で始めたバドミントンでは、昨年の西沼地区新人大会で3位に入賞。今年はさらに上位を目指す。このほか、地域おこしの土産物「ひしストラップ」の製作や地区の奇祭「せんとつむし」に全校生徒で参加するなど多くのことを経験した1年だった。

上級生が卒業すると来年度は男子生徒は1人だけとなる。団体戦は難しいが、大会や伝統行事に1人でも参加するという。「町の行事に協力し、思い出ができた。西山中の伝統をつないでいきたい。」